

実証課題名	下水汚泥資源の活用促進に係る耕種農家の肥効ニーズにマッチした配合肥料等の開発と再生リン由来肥料で生産された農産物の付加価値向上試験の実証(R5~R7)
構成員	神戸市、水ingエンジニアリング(株)、神戸大学大学院農学研究科、兵庫六甲農業協同組合、(一財)神戸農政公社、稲作生産者協議会、野菜生産者協議会、兵庫県
汚泥肥料を製造・流通する事業者	水ingエンジニアリング(株)(東京都港区)

【背景・課題】

神戸市は、人口150万人以上の大都市でありながら、北区、西区には豊かな農村地域が広がっています。大都市近郊の立地を活かした農業が展開されており、コマツナやホウレンソウなどの葉物野菜、神戸ビーフなどの畜産、ワイン用ブドウ、酒米山田錦などが盛んに生産されています。

近年の肥料等農業資材の高騰により、農業経営を圧迫しているため、下水汚泥より再生リンを回収し、国際情勢等に左右されない肥料供給を行っています。再生リン由来肥料の利用拡大に時間を要しています。

【再生リン配合肥料の保管中の品質変化試験(保管)】

- 年間を通して、再生リン配合肥料を製造するにあたり、その適切な保管方法の検証
- 保管期間中における固結や成分変化の調査

目標

- 安定供給を目指し、湿度、温度等が品質に影響を与えない保管方法を確立



こうべ再生リン配合肥料

目標製造量

- こうべ再生リン 200t/年
- きぬむすめ用 1,500袋/年
- 山田錦用 1,200袋/年
- 園芸用 15,000袋/年

目標製造コスト

- きぬむすめ用 198,250円/t
- 山田錦用 199,400円/t
- 園芸用 134,250円/t

【肥効ニーズにマッチした配合肥料等の製造技術(成分・肥効設計)】

「こうべ再生リン」を原料とする、配合肥料開発やマイクロプラスチック対策について代替素材等の検討

目標

- 現行の3種類に加え、水稻、コマツナ、ホウレンソウ等で使用できる3種類を開発
- 再生リンと堆肥を混合した肥料の開発(1種類)



こうべ再生リン配合肥料(こうべパーベスト)

【再生リンの重金属等検査による実証(成分実証)】

再生リンの製造時に必要となる重金属等のサンプリング検査の検査項目・頻度等の設定に必要な各種データ取得・分析



こうべ再生リン



リン回収設備

目標

- ヒ素、カドミウム、水銀、ニッケル、クロム、鉛の項目を初年度に年10~12回検証を行い、必要な検査項目、頻度等を確立

【各種農作物の栽培体系の構築(栽培実証)】

慣行肥料と新規肥料の生育・収量・品質の栽培状況調査を行い、結果をもとに栽培暦を策定



コマツナ栽培圃場



「こうべパーベスト」を使用する農家

目標

- 水稻(キヌヒカリ)、コマツナ、ホウレンソウ、切り花の栽培暦を策定

【再生リンを活用した農産物等の需要拡大・付加価値向上(啓発・普及)】

再生リンの取組に対する理解を広げるとともに、再生リン由来肥料によって生産された農産物の付加価値を高める

- 「こうべ再生リン」由来の肥料によって生産された農産物のPR
- モニター制度の活用により意識調査の実施

目標

- 再生リンの取組の認知度向上
- 「こうべ再生リン」由来の肥料により生産された農産物のブランド化



PRイベント



一般向け肥料「こうべSDGs肥料」

【問い合わせ先】

実証代表

神戸市経済観光局農政計画課

視察等の受入について

神戸市経済観光局農政計画課
nouseikeikakuka@office.city.kobe.lg.jp